

10 特別支援の必要な児童生徒を中心とした 授業研究 <特別支援教育>

ねらい

授業における特別支援のあり方について、意見を出し合うことができる。
個別の支援と学級全体の指導の両立について、実践を紹介し合うことができる。

学習指導案の作成

この例のポイント

A3版一枚にポイントを整理して、見やすくする。
学級と対象児童生徒の関連付けを意識しながら見るができる。
対象児童生徒に関する細かい資料があれば別紙でつけるとよい。

3 個別の支援 ()
目標と関連する支援を、実施可能な範囲で書きましょう。

1 個別の所見
この例は本児の実態を表に整理して示しました。できないことばかりでなく、できることも書きます。

2 本時の個別の目標

学級と対象児童生徒の関連付けを考えます。授業が活性化し児童生徒が高め合う中でこそ個別の支援が生きるものです。学級全体の目標も協議します。

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	教員の支援と留意点
1 「さつまいもパーティー」の日時や役を定めておく。	<ul style="list-style-type: none"> 〇 決まっていることを確かめよう。 ・ いつ：〇月 〇日 (〇) 〇時 ・ どこ：家庭科室と多目的ホール ・ 何を：あかしいもを作って食べるのと、ゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇 事前に決まっていることを「さつまいもパーティー」カレンダーを提示し確認する。
2 したいゲームを募集し、行なうか決める。	<ul style="list-style-type: none"> 〇 ゲームはありますか、ドッジボールがしたいです。 ・ 手つなぎおにぎりがしたいです。 ・ 自分もタイズを出してみたいです。 ・ まま出てやりたいたいです。 ・ だるまさんがころんだをしたいです。 ・ かもち列車が楽しいです。 ・ ハンカチ落としをやってみたいです。 ・ フルーツバスケットがしたいです。 〇 ゲームを決めます。どのゲームにするか、決めた方がいいと思います。自分のしたいゲームを決めてください。順番に聞いて、自分のしたいゲームになったら名前カードを黒板に掲げてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇 できるが許可が必要なゲームは事前に声をかけるが、アドバイスも入れながら説明と一緒に進める。 ※ してみたいゲームが決まらなかったら、簡単に済ませたいゲームの候補に絞る。 ※ 自分の名前カードを貼りたいゲームの候補に絞ることを知らせる。 ★ 自分の考えをみんなで話すことができた。
3 役割分担を決める。	<ul style="list-style-type: none"> 〇 楽しいパーティーにするためには、他にどんな仕事があるだろうか。 ・ さつまいもを並べる仕事、いも焼 ・ はじめにみんなの前で話す仕事。→はじめの言葉係 ・ ゲームのときにみんなに話す仕事→ゲーム係 ・ 「これからはじめます」という仕事→司会係 ・ プログラムを書く係 ・ 終わりの言葉係 ・ 遊星を飾る係 など 〇 分からないことがあれば聞いてください。 〇 したい係を決めて自分名前カードを貼ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇 具体的な仕事について、誰がやればいいのかを前もって提示し、実践したり絵カードを提示したりする。 ※ したい係について自分の意思を表示するように促す。 〇 どれも大切な係であることを知らせる。
4 決まったことをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 〇 今日決まったことめをしましょう。 ・ ゲームは〇と〇と〇にしましょう。 ・ 誰がどの係をするか確認をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇 「さつまいもパーティー」カレンダーに書き込んでいく。
5 次時の予定を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 〇 この日はお休みの日で、〇日までに自分の係の準備をしておいてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇 言葉を考えて、プログラムを書いたりすることについて、わかるければ教師と一緒にすることを知らせる。

4 個別の評価規準 ()
予想される児童生徒の反応を考えたが、評価規準を書きましょう。学級活動でなく教科の場合は別に表にする方が具体的でよいでしょう。

第1学年 学級活動指導案 平成 年 月 日 () 指導者

1 題材名	「さつまいもパーティー」をむらこころ
2 題材設定の理由	よりよい学校生活の実現のためには、子どもたちが自分たちの生活の向上を目指して学級内の組織づくりや仕事の見直しを行う活動、日々起こる問題の解決方法について話し合う活動など、様々な活動が考えられる。その中で、学級の集いの活動は、学級生活を一層楽しく充実・向上させるために、学級の児童生徒が集まって行う活動であるので、児童の発想や創意工夫を十分に生かして、自主的な活動にしたいと考える。また、集会を行うためには、集会の企画をすること、役割分担を定めること、お休みの日を定めておくこと、決まりを共有することなどが必要であり、目的意識を持って話し合い活動を進めることができる。教育的には、子どもたちがやりがちな満足感や充実感、達成感などが得られると考える。そして、今回は、集会から話し合っているさつまいも作りの準備をきっかけに集会活動にもつながる集会にしようと考えた。
3 学習計画 (総時数8時間)	<ul style="list-style-type: none"> 〇 さつまいも収穫しよう (1時間) 〇 楽しい「さつまいもパーティー」になるよう考えよう (2時間 本時②/②) 〇 「さつまいもパーティー」をしよう (2時間)
4 本時の学習	<p>(1) 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇 楽しい集会にするためのゲームや役割分担について進んで話し合いに参加することができる。 〇 お楽しみ会で自分がやりたいゲームや役割を理解し、自分で決めることができる。(A1) <p>(2) 準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の名前カード、「さつまいもパーティー」カレンダー、プログラム表。

1 個別の所見
この例は本児の実態を表に整理して示しました。できないことばかりでなく、できることも書きます。

2 本時の個別の目標

学級と対象児童生徒の関連付けを考えます。授業が活性化し児童生徒が高め合う中でこそ個別の支援が生きるものです。学級全体の目標も協議します。

4 個別の評価規準 ()
予想される児童生徒の反応を考えたが、評価規準を書きましょう。学級活動でなく教科の場合は別に表にする方が具体的でよいでしょう。

具体的なすすめかた

(1) 自評 (10分)

学級全体の指導について

対象児童生徒について

- ・これまでの指導・支援の経過と本児の変容
...個別の指導計画、知能検査・学力検査、
Q U等の説明も含めながら
- ・本時の指導・支援と評価
...学習指導案に基づく振り返り



自評は本時の評価を中心に行います。対象児童生徒のこれまでの経過等はあくまで補足です。

(2) 記録係からの説明(5分)

学級全体の指導について

対象児童生徒について

対象児童生徒専任の記録係も作るとよいでしょう。対象児童生徒の反応・発言・行動等の記録があると振り返りやすくなります。ノートや作品等は研究会の時に回覧します。

(3) 協議 (45分)

本時の対象児童生徒の指導・支援と評価について

- ・個別の目標と評価
- ・個別の支援

対象児童生徒の指導・支援の経過と変容について

学級全体の指導について

- ・本児の支援を視野に入れた学級経営のあり方
- ・本児の支援を視野に入れた教科・領域等の学習指導のあり方



学級全体の指導の協議に時間をとります。個別の話に終始すると対象児童生徒に関わりの薄い先生が参加しにくいものです。

(4) まとめ (20分)

研修で参考になったことを紹介し合う。

- ・個別の指導・支援について
- ・特別支援対象児童生徒を視野に入れた学級経営について
- ・特別支援対象児童生徒を視野に入れた学習指導について

この3つの視点で気付いたこと、考えたことを共有します。

「指導と評価」の観点で、対象児童生徒への学習指導について話し合しましょう。翌日からの授業実践につなげるために今日の授業から学ぶことを話し合しましょう。児童生徒の変容や成長は、生活場面ばかりでなく授業の中でも見られるはず。その気づきが授業改善の意欲につながります。